

## 設置する学校・大学における共生社会の実現に向けた取り組みをご紹介します。

### 1、共生社会実現に向けた取り組み／高校生によるちよこつとボランティア活動

法人が設置する高校（星槎国際高等学校）では、地元地域（立川市）の生活課題の中で地域高齢者の日常の中で起こる困りごとなどについて、在籍する高校生が中心になって地域のボランティアとして支援活動をしています。

参考：南部東はごろも地域包括支援センター情報誌「まちなつと（25年2月発行号）」

<<https://www.tachikawa-shakyo.or.jp/wp-content/uploads/2025/02/2-20250201.no46.pdf>>

### 2、共生社会の実現に向けた取り組み／多様な子どもたちが安心して生活していける環境づくりのための啓発活動

星槎国際高等学校（立川校）では、在籍する高校生がコロナ禍の制約がある中で「世界子どもの日（11月20日）」から「世界自閉症啓発デー（4月2日）」の約4ヶ月間をブルーライトアップのイルミネーションを通じて、様々な子どもたちが安心して生活していける環境と、自らの可能性を発揮し成長していける社会の構築に向けて、だれもが暮らしやすい街と差別偏見のない社会を考えるきっかけのためのイベント運営に協力してきました。

参考：ライトイットアップブルー立川（世界こどもの日（11月20日）から世界自閉症啓発デー（4月2日）（約4ヶ月））の高校生による作成動画（動画は立川社会福祉協議会様の公式Youtubeです。）

<<https://www.youtube.com/watch?v=yf41cOJTxK4>>

## 3、障害及び障害者への理解促進に関する取り組み／企業様に向けた障害者雇用支援者の専門性向上に資する教育・研修

法人が設置する「星槎大学」では、近年企業様などにおいて障がい者雇用が拡大するなか、企業内の支援担当者の専門性を向上させ就労継続につなげるための教育・研修などを、企業様と連携して実施しています。

参考：パルシステム様との連携＜

[https://seisa.ac.jp/2025/08/pal\\_system-seisa/](https://seisa.ac.jp/2025/08/pal_system-seisa/)>

## 4、障害者スポーツ等への参加促進（東京2025デフリンピック応援プログラム）

広く、高校生、大学生に向けてデフリンピックを知るための広大連携オンラインプログラムを通じて、デフリンピック運営委員会事務局の方からデフアスリートの抱える困難さや競技を応援するための理解などを通して、共生社会の実現に向けた取り組みを行なっています。

参考：東京2025デフリンピック応援プログラム実施報告＜

<https://seisa.ac.jp/2025/05/def-seisa/>>



### 企業・団体情報

企業名：学校法人国際学園

住所：神奈川県横浜市青葉区さつきが丘8-80

東京拠点：東京都立川市錦町6-9-5

星槎国際高等学校立川学習センター

（星槎大学サテライトカレッジ）

事業概要：中学校、高等学校（広域通信制高校）、大学（通信制大学）、大学院（修士課程、専門職学位課程、博士後期課程）を設置する教育機関

URL：<https://kokuzaigakuen.ac.jp/>

